

1 分野：生活・安心
 (3) 政策の柱：豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承
B 政策の方向性：人と自然・生き物が共生する社会づくり

【政策の方向性と施策の関係】



施策名	課題等	主な取組	総合評価
①野生動物等の適正な管理	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣や外来種の分布拡大は農林水産業への被害や、本道の生物多様性の保全にも悪影響 適正な個体数管理や外来種の防除などの取組を推進する必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○捕獲効率の向上に向け効果的手法の検討 ○「北海道アザラシ管理計画」の推進のため個体数調査を実施 ○ヒグマ対策技術者育成のための捕獲事業」を実施 ほか16の取組	効果的な取組を検討し引き続き推進
②鳥獣による農業被害防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣による農林水産業被害、生活被害が甚大 農業被害は、平成23年度をピークに漸減傾向だが、総合的な鳥獣被害防止対策を支援する必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な捕獲・追い払い、農用地への侵入防止柵の整備など、地域協議会等が取り組む総合的な鳥獣被害防止対策を支援 ○事業の推進指導を実施 	効果的な取組を検討し引き続き推進
③エゾシカ森林被害対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産業への被害や人身事故の発生などが大きな脅威 適正な生息水準の早期実現に向け対策を総合的、計画的に推進 国有林・民有林等の関係機関が被害対策を一体的に実施することが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○被害防除対策や捕獲対策を実施 ○国や道、市町村等と連携した取組や鳥獣保護区等における捕獲事業を実施 ○「エゾシカ森林被害対策連絡会」を通じて技術向上研修等を実施 ほか2つの取組	効果的な取組を検討し引き続き推進
④海獣等による漁業被害対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 来遊する海獣類により深刻な漁業被害が発生 漁業被害防止対策を総合的に推進する必要 外来魚による、在来種の資源量や生態系に与える影響が懸念 	<ul style="list-style-type: none"> ○被害防止対策を実施 ○経験の浅い漁業者ハンター等に対して技能向上のための実践研修を実施 ○各種会議等を通じ漁業被害防止対策への取組に対する情報等の共有化を推進 ほか3つの取組	概ね順調に展開

【総合計画の指標】

